

山形県中学校総合体育大会の結果

7月22日から24日の日程で開催された山形県中学校総合体育大会において、出場した部・個人とも地区の代表として、それぞれの目標達成に向け精一杯戦いました。結果は次のとおりです。

団体	個人
ソフトテニス女子：準優勝	剣道男子 優勝 近松尚哉（東北大会・全国大会出場）
剣道女子：ベスト8	剣道女子 優勝 奥山璃胡（東北大会・全国大会出場）
	陸上共通女子200M 2位 原伶奈（東北大会出場）
	陸上3年女子100M 3位 原伶奈（東北大会出場）
	ソフトテニス女子個人 5位 江端咲笑・渡邊清良ペア（東北大会出場）



写真左から近松尚哉さん、佐藤町長、奥山璃胡さん

8月17日、剣道個人優勝の近松尚哉さんと奥山璃胡さんが佐藤町長を表敬訪問し、県大会の成績と東北大会および全国大会への出場を報告しました。

佐藤町長は、「中山町はスポーツのまちを掲げている。今回の快挙は町民の皆さんにとっても明るいニュースです。次の大会では落ち着いて普段通りの力を発揮してください」と両名を激励しました。

岡崎光汰さん(田畑道場中山教室)が世界大会で優勝

7月9日にカザフスタンで開催された極真ジュニア世界空手道選手権大会において、極真空手田畑道場中山教室の岡崎光汰さん(東海大山形高校3年生)が日本代表として出場し、16~17歳70kg超級で優勝しました。

岡崎さんは、「今回の大会は環境に慣れることができず、精神的な弱さが出た場面もあったが、仲間や家族の声援に勇気付けられた」と振り返り、「これに満足せず、これからも励みたい」と話していました。



岡崎さんは、足でバットを折ったり氷を手で割ったりするテレビコマーシャルに憧れ4歳で空手をはじめ、現在も総合体育館で週3~4回稽古に励んでいます。



高橋善太郎さん(土橋)が矍鑠賞を受賞

7月24日に新庄市で開催された公益財団法人日本民謡協会主催の「民謡民舞山形県連合大会」において、高橋善太郎さん(土橋・94歳)が矍鑠賞(高齢になっても精力的に活動する方を激励する賞)を受賞しました。

高橋さんは、昭和35年から民謡を始め、94歳となった現在も毎週稽古に通っています。

今回の受賞を受けて、「こういった賞を受けることができ、大変うれしい。民謡は楽しみでもあるので、これからも健康に留意して続けたい」と意欲を見せていました。

生涯にわたって健康で安心・安全に暮らせるまちを目指して「なかやま虹の丘」が多機能型事業所に



地域活動支援センター「なかやま虹の丘」は、障がい者の創作的活動や生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等を図る目的で平成23年7月に開所しました。

今年4月からその運営を社会福祉法人愛泉会に委託することとなり、これに合わせ、より多くの方からご利用いただけるよう施設の改修工事を行い、8月末日、工事が完了しました。

今後利用者も増える見込みで、創作的活動等の機会を提供する「生活

介護」と就労の機会を提供する「就労継続支援(B型)」の2つの機能を併せ持った多機能型事業所として、障がい者支援のますますの充実を図ります。

「なかやま虹の丘」では利用者を募集しております。利用ご希望の方はお気軽にお問い合わせください。

※お問い合わせ先 健康福祉課福祉子育て支援G ☎662-2705
地域活動支援センター「なかやま虹の丘」 ☎662-5588

平和への思いを新たに

戦没者追悼式



8月5日、中山町戦没者追悼式が中央公民館で開かれました。

式には、佐藤町長をはじめとする町関係者や遺族が参列。全員で黙祷を捧げた後、佐藤

町長が「戦争の悲惨な体験を風化させることなく、次の世代に伝えていくこと、平和を継承することは私たちの使命。恒久平和の実現に向けて努力し、豊かな郷土を築いてまいります」と式辞を述べました。

また、中山中学校を代表し、3年生の秋葉秀英さんが「平和な毎日が当たり前と思っていたが、修学旅行で訪れた広島で、戦争の



平和への思いを述べた秋葉秀英さん(中山中3年)

悲惨な体験談を聞いた。平和は当たり前にあるものではなく、先人の犠牲の上に成り立っている尊いものであると感じた。広島で聞いたことを後輩に伝え、平和のために自分たちにできることを考えた」と平和に対する思いを述べました。

式の最後には、参列者全員で献花を行い、戦争で尊い命を落とされた方々の安らかなご冥福を祈りました。

先の大戦で、中山町では464人の方が犠牲になりました。終戦から71年の歳月が経過しましたが、悲惨な歴史を繰り返すことのないよう、参列者は恒久平和への思いを新たにしていました。